

平成20年度インターンシップOBOG会

すーさんちのカレー

カレーの販売を通して、実際の営業という仕事を体験し、大変なことがわかりました。声を出してお客様に呼びかけることで、完売することができました。



【ホールイベント】

◎ 和太鼓 & 劇団GABEZ
和太鼓 VS ダンスパフォーマンス

今までに見たことのない和太鼓のステージを作りたいと思い、試行錯誤を繰り返し当日を迎えました。お互いのパフォーマンスを最大限お見せすることのできた、30分間のストーリーになったと思います。



◎ サニチル
サニチルライブ!!

広いステージで思いっきり歌って踊る事ができました。会場に集まってくれた小さい子からお年寄りの方まで、一緒になって手拍子やダンス、歌を歌ってくれて盛り上げてくれました。ありがとうございました。



◎ 茉莉花の会 (金 恵娟)

ソプラノ金恵娟 日中友好春風に歌うコンサート
お客さまがじっくり聞いてくださり感動しました。歌詞の意味は分からなくても、心を一緒にした一時を過ごせました。川崎が大好きです。歌を通じた地域の皆さまとのコミュニケーションを大切にしています。どうもありがとうございました。



◎ アモーレプラスバンド
英国式金管バンドの響き

ご来場ありがとうございました。本場英国の金管バンドは老若問わず心の安らぎの場として町ごとに結成されており地域に密着した存在です。ご興味のある方、お気軽にご連絡下さい。 <http://fhp.jp/amore/>



【司会者コメント】



今回は2人で司会を行いました。出演者が日頃の成果を発揮し、観客の皆さんが大いに楽しまれて、また来年も是非来場したくなるよう、リハーサルの段階から心がけました。その結果、過去最高の来場者数を記録できました。

～仙北谷 カ～



上京してから早1年。川崎市のお祭りに参加するのは初めてで、ドキドキしながら当日を迎えました。当日は、国際色溢れる出演者とお客様が一つになって、どんな人でも楽しめる素敵なステージでした♪
I LOVE川崎!

～小椋 郁恵～

◎ ハンドベルサークル・メイリィ
ハンドベルコンサート

多くのスタッフの方に支えられて初参加を楽しむことができました。演奏や楽器紹介を通してハンドベルの魅力の一端を感じて頂ければ嬉しいです。コンサートにも是非足を運んで下さいね。(7/11 府中の森芸術劇場)



◎ 敦煌楽音会

楽しもう! 中国伝統楽器琵琶と二胡の競演
素敵な場所でたくさんの方々に応援して下さりとても感謝しております。中国の伝統音楽に興味のある方、二胡や琵琶などを習いながら、楽しく仲間づくりをしましょう。初心者の方も歓迎です。
連絡先 Tel: 044-798-7346
E-mail: zjj2023@hotmail.com



◎ 劇団みるき〜うえい

親子ふれあいミュージカル「ヘンゼルとグレーテル」
初めは遠く感じた客席が、だんだん近くに思えました。ミュージカルを通して、広い空間がひとつになれたことがとても嬉しいです。ありがとうございました。



すくらむ21まつり：インターンシップ企画「Let's make kawasaki MAP」

CONTENTS
目次

特集 第4回 すくらむ21まつり特集
～すすめよう！ワーク・ライフ・バランス～

- 【記事】 ● 講座レポート「広がる格差と女性」……………2
「仕事も育児も輝いて」……………3
- 参加団体からのひとこと (事務棟イベント) ……4
(展示)……………5
(女性起業家ミニ見本市)…6
(おまつり広場事務棟イベント)…7
(ホールイベント) ……8

すくらむ21では、これまでともに事業を進めてきた市民や市民活動グループ・団体等が結集し「すくらむ21まつり」を開催しました。仕事と暮らしの調和をめざし、一人ひとりの生活の充実を図るきっかけとして地域イベントならではの手法・演出を施し、世代間・地域内での交流を促す各種プログラムを実施しました。その中でも、2つの講座をご紹介します。

主催：川崎の男女共同社会をすすめる会、かながわ女性会議 川崎

『広がる格差と女性』

講師：竹信 三恵子 さん（朝日新聞編集委員）

当日の会場は「竹信さんの話を少しでも聞きたい!」といった多くの参加者の熱気に包まれていました。講座はとても充実した内容でしたが、特に印象的だった点について感想を交えながらご紹介いたします。

(レポーター:通信編集員 森田)

★日本の貧困層は女で出来ている

竹信さんは資料に基づきながら、格差や貧困に直面する女性労働者の実態について説明されました。日本において働く女性の非正規雇用者の割合は、10年前より10%伸びて50%以上であり、ワーキングプアといわれる年収200万円以下の層は40%を超えています。現在、日本の働く女性の多くが低賃金の非正規労働者としての就業を余儀なくされているのです。

一方、ヨーロッパでは派遣労働者は契約期間が短い分、むしろ大変だろうという考えからあえて賃金を高く設定し、退職金を支払う場合もあるそうです。また、「一年以上継続する仕事は有期雇用にしてはいけない」という法律があるため、有期雇用そのものが少ないそうです。こういった事情を聞くと現在の日本との違いに愕然としますが、ヨーロッパの国々も現在に至るまで様々な改善があったとのことでした。ここでは2つの事例をご紹介します。

一つ目はオランダの事例。オランダでは女性は家庭に入るという考えが根強く、性別役割分業型の社会でしたが、景気悪化に伴い男性の解雇や賃金減等の事態になったことをきっかけに、女性達の

働く環境を整えていく必要性が生じました。正社員であろうとパートタイマーであろうと、仕事の内容によって賃金を決め、社会保障も労働時間に応じて適用される「労働時間差別禁止法」が制定されたのです。その結果、女性達は納得して働き始める社会へと変化していったそうです。

二つ目は、デンマークの事例です。デンマークでは、パートタイマーは低賃金ではありません。それは高いノウハウがあれば出来ないパートタイマーの仕事が多いため、それを可能にする職業教育システムを整えてきたからだそうです。

事例を通じて、長期的視点で労働市場や教育システムを改革していくことが、労働者や企業のみならず、経済全体の好転に繋がる可能性を秘めていることが分かりました。

また、竹信さんのお話の中でも一つご紹介したいのは「福祉サービスの問題」についてです。

★福祉サービスの賃金が安い理由

新しいサービスは、従来それがどのくらいのお金をかけて行われていたかという基準で価格設定されるため、これまで「嫁」が家庭で担ってきた介護、育児といった福祉サービスは低い価格で設定されているそうです。つまり、「雇用差別」は、多くの場合、その前に「性差別」の考えがあります。竹信さんは次のようにおっしゃいました。「今後も介護・育児は『嫁』がやるものという考えが変わらなければ、『嫁』が家で介護・育児が出来るよう、男性が2人分、3人分を稼がなくてはならない。



正社員ならよいが、今の25歳以下の若年層の5割は非正規社員なので、そもそも家族を養えるだけの収入が得られない状態にある。これでは結婚さえ出来ない。だから、『嫁』がいなくても、介護はしてもらえるような仕組みに変えていかねばならない。そのためには、介護現場で働きたいと思えるような待遇改善はもちろん、公的仕組みの整備も必要。そのためには、税金を払える女性労働者を増やすことが必要なのです。」

「性差別」「男女平等」の問題を「経済」の側面から説明されると理解しやすいという人は多いと思います。女性に限らず、様々な格差の根源にあるであろう従来の発想や固定観念を取り除き、新しい発想で現場を見直していくことが、男性も女性も、高齢者も若年層にも、働きやすく、生活しやすい社会に繋がるのだと気づきました。

参加者から「市民自らが行政に意見を伝えていくなど、明日からでも私たちは何か出来るはず…」という発言に対し、竹信さんは「定期的な読書会でもよから、皆で集えるネットワークをもっと作るべき」とアドバイスされました。

参加者の熱気と意欲に満ち溢れた満席の講座は、2時間があっという間に感じられる充実の内容でした。

「仕事も育児も輝いて」 主催：ワーカーズコレクティブ・ハートランド

「市民記者」が市民の目線でレポートしてくれました!

国連総会で女子差別撤廃条約が採択されて今年で30年。制度の見直しが行われそれを後押しする法律がつけられているが、女性が仕事や家庭生活で直面する障害はまだ多い。そうした中で「仕事も育児も精力的に」取り組んでいる3人の女性がパネリストとして、それぞれの「ワーク・ライフ・バランス」を「仕事と家族の関係」で語ってくれた。主催は横浜市を中心に活動する心理カウンセリングワークスの「ハートランド」。当日は同グループの田中恵子さんがコーディネーターを務めた。

館野美弥子さん＝職住一致で子供の学習教室を主宰

「今がベスト!でワーク・ライフ・バランスを楽しむ」

行政書士として働いていた館野美弥子さんは、結婚してからも夫の会社で資格を生かすことができたそう。出産を機に仕事を離れ3人の子育てに多忙な日々を送りながら、仕事へ復帰することを考えていたと言う。

◆その時々自分のベストを考えて気持ちを整理

再就職活動をしていた矢先、子どもの体調不調が重なり内定した仕事を断念することになり、落ち込んだが「今は自分にとって勤めに出るタイミングではないのかもしれない」と気持ちを切り替えたそう。それをきっかけに、子どもたちをじっくり見つめることができ、子どもたちの「基礎学力」に関心を持ちはじめ、人の成長を喜ぶことができる学習教室の仕事と出会ったと言う。

◆人それぞれ異なるワーク・ライフ・バランス

「私の仕事と家庭のバランスを言えば2:8くらい。人にはいろいろな状況がある。何が大事かは各自が判断することだと思う。人生は変化するもの。その都度、その時のベストを探していけばいいのではないかと語ってくれた。

飯田真由美さん＝デパート勤務から産業カウンセラーへ転身

「やってみて、だめならその時考えよう」

飯田真由美さんは産業カウンセラーとして働いている。仕事帰りに相談に立ち寄る人も多いため拘束時間が長い職場だ。勤務は週3日間。勤務日は家庭の用事を手早く済ませ、残り4日間に十分な時間をかけて家事をするということでバランスを取っているそう。

◆やってみてだめならその時考えよう

飯田さんの最初の仕事はパブル期のデパートの店員だった。華々しい日々だったが、結婚し長男を授かり育児休暇を1年半取得。考える時間ができたことで、以前から関心を持っていたカウンセラーの勉強を始めたと言う。「モノを扱うことから人とかかわる」ことへの変化だった。

職場を離れる時の不安はとて大きかった。カウンセラーへ踏み出すときも「もっと勉強してから」「子育てを終えてから」とも思ったと言う。しかし「やってみて、だめだったらその時考えよう」と気持ちに区切りをつけたことで、今では仕事も軌道に乗ってきたそう。

◆夫の一言で「思い込み」を捨てられた

「以前の私は、家庭内のことを何でもコントロールしがたかった。ある日、夫からの『子どもたちにも気持ちがあるのだから』の声に気付かされ、家庭でのイライラ、家族のギスギスがなくなった。」「これしかない、絶対にだめ、など極端に決めつけなくなったことがバランスよく気持ちの配分ができるようになった要因だと思う」と語ってくれた。

西村真紀さん＝教師から医師へ。毎日が怒涛のような生活

「休日は思いっきり家族と遊ぶ。onとoffのメリハリが大事」

川崎医療生協あさお診療所の所長である西村真紀さんは、診療所の所長、指導医、e-learningで大学の通信教育を受講、そして母親で妻という怒涛のような毎日を「休みには思いっきり家族と楽しむ」ことでワーク・ライフ・バランスを取っているそう。

結婚前は中学、高校の教員だった。結婚後29歳で大学の医学部へ入学。イギリスでGP (General Practitioner: 総合医療の訓練を受けた医師＝家庭医) の研修を受けたことで、その後、家庭医療の医師としてやっていくことの契機となったと言う。

◆周囲に支えられることのありがたさ

西村さんは、最初に勤めた病院で自分の妊娠が分かり、院長の理解で当直勤務を免除された。これが周囲からの協力に感謝する最初の経験となったそう。また、子どもの保育園時代の友だち家族が今でも助けてくれる。そんなコミュニティのありがたさが身にしみると言う。

◆「ベストよりもベターで!」

「子育てをしながら医師として働き続けるためには、パートナーの理解、職場の理解、子育てサポートが必要。」と西村さんは言う。自分自身も女性医師が集まる「女性医師を応援する活動」に力を注いでいる。また、「すべてにベストというのは無理。だから、『ベター』で「休みには思いっきり遊ぶことが、仕事も楽しめることにつながる」と語ってくれた。

《感想》

お話を聞いて3人のパネリストに共通していたものは「結婚後に新しいキャリアに踏み出していること」「コミュニケーションを大切にして周囲からの支援に感謝していること」「無理をしないでその時々の中で気持ちの持ち方に柔軟性を持たせていること」「チャレンジ精神があり、自分で道を選択する姿勢」だと感じました。

(レポーター:市民記者 小島さん)



第4回 すくらむ21まつり

「すすめよう!ワーク・ライフ・バランス」

後援：高津区、高津区全町内会連合会、大山街道活性化推進協議会、協同組合 高津工友会、社団法人 川崎中原工場協会、下野毛工業協同組合、社団法人 川崎北工業会、川崎市商工業協同組合、川崎労働管理協会、協同組合 川崎中小企業労働協会

協賛企業：株式会社 泉屋東京店、株式会社 藤井製作所、川崎フロンターレ後援会、KANTOモータースクール溝ノ口校、協同組合 高津工友会、クノール食品株式会社、総合高津中央病院、東京電力株式会社 川崎支社、ナリスビューティステーション デ・アイム溝の口

(順不同、敬称略)

すくらむまつり参加団体からのひとこと

【事務棟イベント】



◎子育て支えあいネットワーク
親子で一緒にカブラで遊ぼう!

床一面に広げた大量のカブラを使って、インストラクターの方と一緒に子どもが中に入れる程に積み上げて木のかまくらを作ったり、木の象さんを作ったり、親子とも夢中になってとても楽しかったです。



◎NPO法人 ままとんきっす
お父さんと遊ぼう!ダンボール基地!

約100組の親子が来場し、会場は身動きがとれないほどのにぎわいでした。子どもと一緒に、基地などを作るお父さんの楽しそうな姿が印象的でした。



◎ナリスビューティステーション
デ・アイム溝の口
ワンポイントメイクコーナー

溝の口駅南口徒歩1分。お手軽な金額で(2100円〜)お顔のお手入れ〜メーキャップまで、キレイになるまで試せるビューティスタジオです。自分らしく、キレイになる楽しさをデ・アイムで見つけてみませんか?



◎市民講師 美野健司氏
いざというときの傷の応急手当法

すくらむ21の活動への参加は、救命手当の普及の必要性活動では新しい分野で多少心配でしたが、受講者が大変熱心で、質問も鋭く、手ごたえを感じました。また機会をいただければ参加したいと思っています。



◎菅田 かなえ氏
親子ホカホカ教室〜ドライヤーで温灸体験〜

日本古来の東洋医学を家庭版にアレンジ。ドライヤーを使った温灸体験です。親子それぞれに使えるツボ、温める経絡をお伝えしました。年齢問わず、親子、夫婦、ひとりでも!ホカホカ時間を楽しんで頂きました。



◎川崎市地域女性連絡協議会
覚えておきたい初期救急法

日本赤十字社の救急法指導員の兼田賀代子氏による緊急時の怪我人・病人の介護の方法を解り易く指導されて大変勉強になりました。昔からの口伝による救急措置などで全く逆効果のものもあり、改めて見直すこともありました。



◎新井 喜美子氏
親子でできる骨盤体操

親子のスキンシップを大切に、運動不足になりがちな母親の健康に対する意識を高めることが目的。親から離れて動く子が多かったが、お互い気がねなくふれあう場になったと思う。日常生活でできる体操も紹介した。



◎日本新薬ウィメンズヘルスケアチーム
おしえて☆生理痛セミナー in 川崎

関東労災病院産婦人科の星野先生から生理痛の原因や対策について講義があり、参加者からの質問に答えて頂きました。普段聞きにくいことも少人数で話し合うことができ満足度の高いセミナーでした。



◎日本女性技術者フォーラム
わたしが変わるワークショップ

テーマはリーダー。自分が自分のワーク/ライフをリードするリーダーになる。それが狙いです。性別も年齢も仕事も違う17名が、わいわいと目標づくりを楽しみました。



◎ウーマンズ・アイ
カラダをほぐせばココロがわかる

知らない同士で始まりましたが、カラダを動かし、少し暖かくなった頃みんなの顔がニコニコしてきました。ココロがほぐれて気持ちいい空気の2時間でした。



◎NPO法人 PCさろんウィア
お名前ラベルを作ろう!

オープンと同時にたくさんのご家族連れで満員!パソコンでお好きな絵柄にお名前を入力し、ラベル用紙にプリントして出来上がったものをお持ち帰りいただきました。いろいろなものに貼って役立ててくださいね。



◎川崎の男女共同社会をすすめる会
かながわ女性会議 川崎

広がる格差と女性~仕事と生活の調和はかなうのか~

朝日新聞の竹信三恵子さんが格差と貧困問題の背景には「女性の貧困」と労働の規制緩和があることを取材とデータで指摘。会場からの多数の発言にも関心の高さが現れていた。変化を創る市民の繋がりが作りが訴えられた。



◎ワーカーズコレクティブ・ハートランド
仕事も育児も輝いて

社会で活躍中の女性によるパネルディスカッションとパネラーを囲んでの質問タイムでは仕事も育児もバランスをとりながら希望を諦めないで活動されているお話が伺え、「ワーク・ライフ・バランス」のヒントになりました。



◎カラカサン
フィリピン料理と交流ワークショップ

前半は、20名ほどがグループに分かれ、丸テーブルを囲んでのフィリピン料理の共同作業。そして、料理が出来上がると、たくさんの方が会場に…。後半は、食事をしながら、参加者同士の交流を深めることができました。



◎小林 康人氏(デザイン企画アドバイザー)
パソコンで指人形を作ろう!

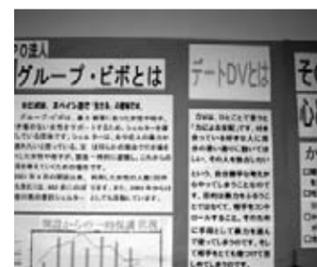
子供の好きなソウヤキリンなどの動物を題材にし、パソコンのペイント機能を使用して作る指人形です。5本の指に人形をさして嬉しそうに帰る子供達が大変印象的でした。来年も同様の企画で子供を喜ばせたいです。



◎絵本の読み聞かせ講師:北 素子氏
保育室での絵本の読み聞かせ

泣きながらも耳を傾ける1才の子、緊張していたのに最後は膝の上で聞いていた2才の子、「もう1回!」と何度も読みせがむ4才の子。絵本を通しての温かな触れ合いに、幸せな保育時間を過ごすことができました。

【展示】



◎NPO法人 グループ・ビボ
デートDV~しない、させない~

今回は若い層にスポットを当てたテーマでの展示とビデオ上映。高校、大学生(大人も)が、観賞し質問も多々。予防及び啓発に役立った。恒例のバザーにも大勢の厚意が寄せられ、お祭りが回を重ねる毎に地域に定着していることを実感。他のイベントにも参加し楽しい一日でした。



◎NPO法人 ウィメンズハウス 花みずき
女性への暴力をなくすために!

DVとは?のパネル展示と、チラシの配布、女性の為の電話相談ライラック742-7753の案内。チラシが不足する位の人出でした。DVに気づき、様々な悩みを抱える女性の心のもつれを解すきっかけになればと思います。



◎すくらむ塾
ワーク・ライフ・バランス関連展示

すくらむ21の人材育成事業「すくらむ塾」修了生による調査活動成果展示。今年度のテーマ「ワーク・ライフ・バランス」について、修了生は各々の視点から調査した成果をポスター形式で発表しました。



◎平成20年度インターンシップOBOG会
Let's makeかわさきMAP

川崎マップでは、たくさんの方に参加していただき、情報交換ができたと思います。声を出して密着も頑張りました。

【おまつり広場】



◎ 藤工芸トバース
藤工芸の魅力を楽しみませんか

毎月第1・第3(月)午後1時半より4時まで少人数で楽しく藤花やバスケットを作っています。いつでも体験できます。藤花チューリップと麦穂無料体験できます。材料費680円、ご参加お待ちしております。



◎ 高津パッチワークサークル
パッチワーク作品の展示

皆さまに作品を見ていただき感想を賜りますと、とても力になります。また楽しい作品を作っていきたいと思えます。



◎ 絵はがきの集い
絵はがきの展示

誰でも簡単に出来る身の回りの材料、糸・布・植物・紙・食材等使ってデザインします。メンバー9名。70歳~80歳の大先輩のパワーは素敵です。私も楽しみです。毎月第4金曜日の午後1時半~3時半まで。体験無料は毎回受け付けています。
TEL 777-1364 (午前中又は夕方6時以降)



◎ 精神障害者地域作業所 喫茶ほっと
喫茶ほっと ~くつろぎコーナー~

好天に恵まれたたくさんのお客様にゆっくりしていただけました。無添加の焼菓子も好評で、2時台にはほぼ完売! 次回は一層、質と量を充実させてよりお客様に喜んでいただけるよう、頑張ります。ありがとうございました。

川崎フロンタール後援会

景品付★シュートチャレンジ

シュートチャレンジ、等々力競技場の署名活動、後援会入会ブースを設けさせていただき、子供から大人まで非常に多くの方に足を運んでいただきました。是非とも来年も参加させていただきたいと思っております。



NPO法人 高津区文化協会

美術工芸小物の展示販売

高津区文化協会から参加させて頂きました、内藤ステンドグラス教室の内藤と申します。第1回より参加しております。すくらむ21まつりでは、アクセサリーを生徒さん達と手作りしてお売りしました。また来年もお会いできる様楽しみにしております。



国際ソロプチミスト川崎-百合

チャリティーバザー

肉まんあんまん、作業所の物品、アフリカの女性が作ったシャツを販売しました。お饅頭は1時前には完売。評判も良く、私達も楽しんで販売することができました。



国際ソロプチミスト川崎

人身売買防止キャンペーン

女性と女の子のために人身売買防止キャンペーンを実施、展示とチラシの配布をしました。日本ではまだ意識されていませんが、インターネットを通じ、世界中の貧しい女性と女子が性的奴隷状態に置かれています。



【女性起業家ミニ見本市】

田園都市トラベル株式会社

オーダーメイドの旅を企画します! 海外旅行コーナー



http://www.denentoshi-travel.com

ブンガプティ (Bunga Putih)

草木染 手描きパティック ジャワ更紗の紹介と販売

インドネシアではとても伝統と歴史のあるジャワ更紗をもっと知ってもらいたいと思い参加しました。実際ジャワ更紗が好きな方々もいらして今後更なる展開をして広めていきたいです。



ガールスカウト川崎市連絡会

母と子のためのクラフト教室

木製洗たくばさみを利用し、それにマジックで色ぬりをしたワニ作りは簡単に出来、又個性が発揮され子供たちがたくさん参加してくれました。



KANTOモータースクール 溝ノ口校

覚えていますか?交通安全クイズ

信号機の中で、赤信号は右?左?など、普段見慣れていても分からないものです。親子で一生懸命考えていたのが印象的でした。参加賞のお菓子釣りでは、大はしゃぎ。実施している私達も楽しい気持ちでいっぱいでした。



さくら

入園・入学グッズ

パッチワークやアップリケ等を駆使して手作り感を出したせいか、13時には完売しました。入学時期もあまって200~400円というリーズナブルなプライスも完売につながったかと思えます!! スタッフさんありがとう!!



スペインバル "KERE"

太陽のごちそう スペインのワインとタパス

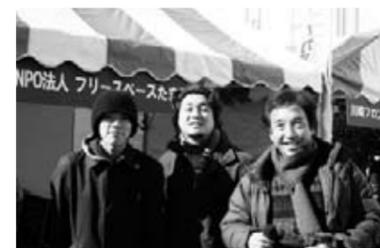
ワインを片手にタパスをつまみながらおしゃべりするあの楽しさを表現してみました。用意した7種類の料理250皿分がワインとともによく売れました。美味しい食物は人と人を仲良くする!これ実感です。楽しい1日でした。



NPO法人 フリースペースたまりば

おにぎり・お味噌汁販売

JR南武線久地駅付近でやっている「カフェたまりば」のおにぎりとお味噌汁を味わってもらえて嬉しかったです。是非、お店にもどうぞ。手作りの「工房たまりば」製品と布小物の販売も大盛況でした。



森正義鶏場 & Uzumaki

産地直送! 地場産野菜・卵販売

新鮮な野菜とタマゴを沢山の来場者の方々に買い上げいただきました。食の安心安全への関心が高まる中、顔の見える生産者の写真が、皆さんの安心に届いたようです。将来定期的に野菜市を企画実施していきます。



ぼた☆めし

スープ&ご飯で温まる

たくさんのお客様に来て頂き本当にありがとうございました。これからも心と体に優しいスープをどんどん作ってたくさんの人達に会えるように開店に向け頑張ります。楽しい一日でした!! 来年もまた参加したいです!



「ぼた☆めし」スタッフ一同

野菜餃子ともち肉団子

餃子ともち肉団子の販売

初めての出店で慣れない中、たくさんの方に協力いただきました。中国の家庭料理(もち肉団子)に関心を寄せていただき、おいしいとの感想をいただき、貴重な経験ができました。



西ヶ谷小学校 若竹会 (おやじの会)

餅つきの実演&販売

臼と杵で餅をつきました。もち米が餅に変わっていく様子を、近くで観て貰うことができ良かったです。飛び入りで、子ども達やベテランの方にも、ついでいただきました。



どこ竹@かわさき

どこ竹@竹とんぼ教室

今年は2度目の参加です。10時~15時まで開催、昼食には30分のお休みを頂きましたが、待ちきれずに並んでくれる子ども達もいて、昼食もそこに再開、72名の子ども達が竹とんぼをお土産にすることができました。

